

事業報告書

【第6期】

平成30（2018）年度

自：平成30年4月 1日

至：平成31年3月31日

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

事業報告書 目次

I. 事業の概要.....	2
1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動	2
2. 日本語・漢字に関する調査及び研究活動.....	5
3. 日本語・漢字に関する能力育成活動.....	7
II. 理事会・評議員会に関する事項.....	13
III. その他.....	14
IV. 後発事象.....	14

I. 事業の概要

伝統ある日本文化の発展の過程において、日本語・漢字は文化の伝達と進展を根幹で支えてきました。公益財団法人 日本漢字能力検定協会は、社会生活に必要な日本語・漢字の能力を高め、広く日本語・漢字に対する尊重の念と認識を高めるとともに、我が国における生涯学習の振興を通じて日本文化の発展に寄与することを目的としています。

この目的を達成するために、本年度も国内および海外において次に掲げる公益事業に取り組み、あらゆる人々の日本語・漢字の“学び”を支える活動を行いました。

事業（定款第4条1項）

1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動
2. 日本語・漢字に関する調査及び研究活動
3. 日本語・漢字に関する能力育成活動
4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動

社会生活に欠かせない日本語・漢字に対する興味関心、尊重の念を抱き、生涯にわたって学習する動機付けや、言語生活が豊かに育まれる環境を整備するため、次に掲げる（1）～（6）の手段により、普及啓発・支援活動を行いました。

（1）漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）の運営

日本語・漢字に対する興味関心を高め、不特定多数の人々の学びの動機付けや促進につなげることを目的に、漢字に関する情報の収集や発信、展示を通して漢字の“面白さ”“楽しさ”“奥深さ”を体感しながら学ぶことのできる「漢字ミュージアム」を運営しました。

本年度の来館者数は91,723人でした。

①開館日数：316日

②開館時間：午前9時30分～午後5時

③休館日：原則、毎週月曜日（休館日が休祝日の場合は翌平日に振替）・年末年始

④利用料：

大人		大学生・高校生		中学生・小学生		未就学児	障害者
個人	団体	個人	団体	個人	団体		
¥800	¥700	¥500	¥400	¥300	¥200	無料	無料

*団体は20名以上（団体引率者は10名につき1名免除）／障害者の介護人（1名）免除

○割引・特典制度

- ・修学旅行・課外学習グループ割（2名以上のグループ）
- ・小中高生1名以上と同伴している大人の割引（2名まで）
- ・年間パスポート（発行日から1年間有効）

大人	大学生・高校生	中学生・小学生
¥2,500	¥1,600	¥1,000

⑤ワークショップ・講座・講演会の実施

漢字学習をテーマとしたワークショップや講座・講演会等を実施。来館者のうち、8,167名が受講しました。

⑥企画展の開催

常設展示だけでなく、期間限定の企画展（入館料のみで観覧可能）も6企画開催しました。

- ア) 「身近なことばの意外な由来展－江戸時代の漢字語－」 4月17日～7月1日 16,128名
- イ) 「漢字の宝島大冒険」 7月10日～9月2日 23,584名
- ウ) 「幕末明治のことば展－漢字よ、ありがとう－」 9月11日～12月9日 18,763名
- エ) 「今年の漢字展」 10月10日～2月11日 28,615名
- オ) 「漢ジムトレーニング」 12月11日～4月7日 31,867名 (28,569名 3月31日まで)
- カ) 「パネル展示 元号のまめ知識」 平成30年3月5日～ (8,831名 3月31日まで)

(2) 機関誌の発行

日本語・漢字学習に資する情報誌として、日本語・漢字に関する様々な記事を掲載した「漢検ジャーナル」を発行し、学習者・保護者・教員をはじめ、一般の方々に無料で配布しました。

- 「漢検ジャーナル V o 1.24」(平成30年 6月1日発行) 発行部数58.0万部
- 「漢検ジャーナル V o 1.25」(平成30年10月1日発行) 発行部数62.0万部
- 「漢検ジャーナル V o 1.26」(平成31年 2月1日発行) 発行部数66.8万部

(3) Webサイトの拡充

①漢字・日本語検索サイト「漢字ペディア®」 <http://www.kanjipedia.jp/>

漢字および日本語の学習を助け、さらなる興味関心を高めるための活動として、無料で漢字・日本語を検索できるサイト「漢字ペディア」を運営しました。このサイトは『漢検 漢字辞典 第二版』に掲載された漢字および語句のデータをもとに製作したもので、パソコンやスマートフォンなどから調べたい漢字や語句をいつでも検索することができるものです。本年度は角川「新字源 改訂新版」との連携をはかり、漢字のなりたち情報を付加しました。また、インターネット辞典「goo 辞書」とも連携をはかり、同辞典で漢字を検索すると「漢字ペディア」の情報が表示されるようになりました。4,586万pv/年間

②漢字・日本語キュレーションサイト「漢字カフェ®」 <http://www.kanjicafe.jp/>

漢字および日本語への興味関心を高めるための活動として、漢字・日本語キュレーションサイト「漢字カフェ」を運営しました。『漢検ジャーナル』等で当協会が発信したコンテンツはもとより、巷の漢字・日本語に関する情報を集めて発信していく情報サイトであり、身近な言葉に関する話題から少し学術的な話題までを分かりやすく伝えています。32万pv/年間

(4) 漢字文化啓発イベント

①今年の漢字®

『今年の漢字®』は、一年を振り返り世相を表現する漢字一字を考えることで、漢字の持つ奥深い意義を再認識していただく機会として、1995年から毎年実施している行事です。毎年11月に、全国からその年の世相を表す漢字一字とその理由を公募し、最も応募数の多かった漢字を12月12日の「漢字の日」に清水寺（京都市）の森清範貫主の揮毫により発表しています。本年は、応募総数193,214票のなかから「災」が20,858票（10.8%）を集めて1位となりました。

②今、あなたに贈りたい漢字コンテスト

“漢字がつなぐ絆”をテーマとして、「想いを込めた漢字を贈る」ことで人との絆を感じるきっかけや大切な人への想いを改めて認識する機会をつくることを目的とし、漢字を贈るメッセージコンテストとして全国から広く作品を募集しました。6回目となった今回は、「小学生部門」に7,785作品、「中学生部門」に11,833作品、「高校生部門」に6,358作品、「大学生・一般部門」に2,805作品、また「その他」

として2,026作品、合計30,807作品の応募がありました。その中から以下60作品を選び、受賞者に賞状・副賞を授与する表彰式および講演会を3月26日（火）に開催しました。

<賞区分>

- ・絆大賞(各部門につき1作品) 計 4作品
 - ・日本漢字能力検定協会賞(各部門につき1作品) 計 4作品
 - ・審査員賞(各部門につき3作品) 計 12作品
 - ・佳作 計 40作品
- 合計 60作品

応募のあった「贈りたい漢字」は計1,547字でした。

4部門を合計した「贈りたい漢字」は、「感」が最も多く、順に「笑」「謝」「楽」「優」「愛」「友」「夢」「幸」「努」などの漢字が並びました。部門別の応募数の多かった「贈りたい漢字」は下記の通りです。

順位	小学生部門	中学生部門	高校生部門	大学・一般部門
1位	友	感	謝	謝
2位	優	笑	感	愛
3位	笑	謝	笑	笑
4位	感	楽	愛	幸
5位	楽	優	楽	楽

なお、昨年第5回の受賞作品を冊子化（70,000冊）し、全国の小・中・高校と教育委員会ならびに希望のあった公立図書館に寄贈しました。本年度第6回の受賞作品も同様に冊子化し、寄贈する予定です。

(5) 漢字まなび活動助成

日本全国における漢字学習の振興を目指して、当協会以外の団体が行う、地域の漢字学習の振興に寄与する活動に対して、その活動費用の一部を助成する制度を、本年度より開始しました。活動1件あたりの助成金額は、活動に係る予算の二分の一以下かつ上限30万円としてホームページで公募した結果、本年度は、7団体10件の活動に対して助成しました。

(6) 支援活動

経済的、環境上の理由により検定の受検や漢字学習が困難な児童・生徒に対し、漢検の受検機会や学習書籍を無償で提供する学習支援を行いました。漢検の受検を通して日本語に親しむ機会を持つことで、漢字の運用能力や学習意欲の向上に役立っています。

【本年度の対象および支援者数】

- ・要保護児童生徒（義務教育課程在籍者）無償受検 延べ341団体 907名
- ・児童自立支援施設無償受検 延べ138団体 2,166名
- ・児童養護/児童心理治療施設への学習教材の無償提供 延べ209団体 5,555冊
- ・東日本大震災の被災地支援としての学習教材の無償提供 延べ132団体 10,465冊

2. 日本語・漢字に関する調査及び研究活動

日本の漢字とは何かを、漢字そのものの字体論や意味論等の側面から研究するのみならず、日本文化の側面からも研究する漢字文化研究や、日本語・漢字学習の普及啓発・支援活動ならびに日本語能力育成活動の深化と発展に資する研究活動を行いました。

(1) 漢字文化研究

①漢検漢字文化研究奨励賞

広く漢字文化に関わる学術的研究・調査等のうち、将来一層優れた展開が期待され、有望視される学究に対して、漢字文化研究奨励賞を授け、顕彰しました。本年度は 14 点の論考が寄せられ、以下 3 名の論文が選ばれました。受賞論文を「漢字文化研究 第 9 号」として刊行するとともに、協会ホームページにも公開し、更なる研究の深化を奨励しました。

各賞	受賞者（敬称略）	論文タイトル
最優秀賞	該当なし	
優秀賞	宮川 優 上智大学大学院文学研究科 国文学専攻博士後期課程 2 年	西海道風土記乙類歌謡の文字選択（再考）
佳作	菊地 恵太 東北大学大学院文学研究科 博士後期課程 3 年 日本学術振興会特別研究員 （DC 2）	位相論的略字体史の試み—仏家と非仏家の対立—
佳作	張 馨方 北海道大学大学院文学研究科 博士課程 2 年	観智院本『類聚名義抄』における小字字体注記について

②日本漢字学会

学術団体「日本漢字学会」は、当協会が漢字文化研究のより一層の振興をはかるために全国の研究者に呼びかけたことがきっかけとなって、平成 30 年 3 月 29 日に発足し、当協会漢字文化研究所が学会の事務局機能を担っています。12 月 1 日～2 日には第 1 回研究大会を京都大学で開催しました。研究大会では口頭発表 15 編、ポスター発表 2 編の研究発表があったほか、シンポジウム「電子版漢和辞典のいま—漢和辞典はここまで来た！」と記念講演会「漢字明朝体が来た道」が開催され、2 日間で会員・一般の方あわせて延べ約 300 名が参加しました。

③日中韓共通語彙集編纂プロジェクト

日中韓賢人会議（*1）で提言された日中韓共通常用漢字 808 字を活用し、日中韓で使う漢字語彙集を編纂するプロジェクトが日中韓三国事務局<Trilateral Cooperation Secretariat, TCS>（*2）の主導で実施され、本プロジェクトの日本側の研究・語彙選定作業を担当しました。

平成 30 年 8 月に語彙集が完成し、同 16 日に韓国ソウルで『日中韓共通語彙集』出版記念式典が開催され、同 27 日には当協会の漢字ミュージアムでも出版記念式典及び公開講演会を開催しました。

本語彙集は、2020 年東京五輪を見据え、旅行者や語学学習者の使用を想定し、報道や公共施設、ドラマなど日常生活で頻繁に使われる 658 語を掲載。見出し語で三国での語義、用例を対照させ、意味

や使い方の比較が容易にでき、字体、意味、用法等の理解を深められるものとなっています。

- (※1) 日中韓の有識者が三カ国や東アジアの協力について議論し提言をまとめるフォーラム。日本経済新聞社、中国の新華社、韓国の中央日報が協力して、平成18年に設立。現在の各国の団長は、福田康夫元首相、曾培炎・前国務院副総理（中国）、李洪九・元国務総理（韓国）。
- (※2) 日中韓三国の平和と繁栄を促進するために設立された国際機関。三国政府によって署名及び批准された協定に基づき、平成23年9月に韓国・ソウルで正式に活動を開始。

(2) 日本語・漢字教育研究

①漢字・日本語教育研究助成制度

学校教育法に定められている学校等の教職員が行う漢字・日本語（国語）教育の実践的な研究活動に対して、研究活動費の助成を行っています。本年度は、5団体からの応募をいただきましたが、選考委員会による審査の結果、採択無しとなりました。

②検定の質的向上と能力判定の妥当性を高めるため、以下の分析を行いました。

- ・受検結果データの調査分析（読み・書きの正答率調査等）
- ・受検者の誤答傾向の調査
- ・事典類の掲載語彙の調査

③漢字・日本語学習に関する学際研究

京都大学と以下2つのテーマに関する共同研究プロジェクトを昨年度より3年計画で進めており、2年目が終了しました。

ア) 漢字能力が脳機能の発達・維持におよぼす効果の科学的検証

「高い漢字能力」を身につけ、さらに維持することの重要性を、学習期（学童期～青年期）と能力維持期（老年期）の2層を対象にした脳の研究によって科学的に証明することを目的としています。

イ) 人工知能（AI）による漢字・日本語学習研究

検定等を通じて蓄積されたノウハウや膨大な手書き文字データを分析し、漢字の適切な使い方や文章力向上に資する学習システムを構築、学習指針を提供することを目的としています。言語処理学会第25回年次大会（平成31年3月12日[火]～3月15日[金]／名古屋大学 東山キャンパス）にて論文を発表しました。

3. 日本語・漢字に関する能力育成活動

普及啓発活動によって日本語・漢字に興味関心を持った人々に学習する機会を広く提供するため、研修会、教材の発行等を行い、その学習成果と達成度を測る検定試験を実施し、合格証明書の発行を行いました。

(1) 「日本漢字能力検定」の実施報告

①検定級および検定料

1級：5,000円 準1級：4,500円 2級：3,500円 準2級・3級・4級：各2,500円
5級・6級・7級：各2,000円 8級・9級・10級：各1,500円

②実施日

回	公開会場日程	対象級	準会場日程	対象級
第1回	平成30年6月17日(日)	1～10級	平成30年6月9日(土)	2～10級
			平成30年6月15日(金)	2～10級
			平成30年6月17日(日)	2～10級
			平成30年7月13日(金)	2～10級
第2回	平成30年10月14日(日)	1～10級	平成30年8月21日(火)	2～10級
			平成30年10月14日(日)	2～10級
			平成30年10月19日(金)	2～10級
			平成30年10月27日(土)	2～10級
第3回	平成31年2月3日(日)	1～10級	平成31年1月12日(土)	2～10級
			平成31年1月18日(金)	2～10級
			平成31年1月30日(水)	2～10級
			平成31年2月3日(日)	2～10級

③会場数

	第1回	第2回	第3回	計
公開会場	167	165	174	506
準会場	12,902	16,500	13,250	42,652
合計	13,069	16,665	13,424	43,158

④漢検 CBT (Computer Based Testing)

通常の年3回13日程の検定日に限定せず、より多くの受検機会を設けることを目的として、コンピューターを利用した漢検 CBT を実施しました。

	会場数	志願者数
公開会場	191	31,870
準会場	77	1,349
合計		33,219

⑤志願者数・受検者数・合格者数

平成30年度の志願者数は1,984,690人でした。回・級ごとの内訳は次のとおりです。

30年度総計	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	3,951	17,420	171,913	303,973	496,210	255,939	203,340	119,097	115,906	115,913	100,161	80,867	1,984,690
受検者数	3,447	14,964	161,779	292,682	479,446	245,750	195,501	115,172	112,254	111,492	96,560	76,512	1,905,559
合格者数	283	1,788	34,489	93,518	215,180	121,853	142,441	91,063	97,326	94,358	87,574	72,283	1,052,156
合格率(%)	8.2%	11.9%	21.3%	32.0%	44.9%	49.6%	72.9%	79.1%	86.7%	84.6%	90.7%	94.5%	
	1級～10級平均合格率 55.2%												
第1回													
志願者数	1,373	5,928	62,132	103,342	156,394	78,805	67,799	30,328	28,643	28,860	24,129	19,832	607,565
受検者数	1,217	5,136	59,192	101,116	153,862	77,417	65,950	29,785	28,172	28,151	23,594	19,212	592,804
合格者数	145	326	12,706	32,129	70,380	38,528	47,195	23,612	24,671	24,093	21,381	18,478	313,644
合格率(%)	11.9%	6.3%	21.5%	31.8%	45.7%	49.8%	71.6%	79.3%	87.6%	85.6%	90.6%	96.2%	
	1級～10級平均合格率 52.9%												
第2回													
志願者数	1,271	5,515	51,138	102,914	194,646	94,608	61,672	33,029	31,128	30,207	25,535	19,157	650,820
受検者数	1,121	4,779	48,277	99,575	189,600	91,682	59,655	32,046	30,309	29,066	24,784	18,089	628,983
合格者数	83	368	9,629	32,840	82,526	45,170	42,010	24,564	25,958	24,223	21,929	17,092	326,392
合格率(%)	7.4%	7.7%	19.9%	33.0%	43.5%	49.3%	70.4%	76.7%	85.6%	83.3%	88.5%	94.5%	
	1級～10級平均合格率 51.9%												
第3回													
志願者数	1,307	5,977	58,643	97,717	145,170	82,526	73,869	55,740	56,135	56,846	50,497	41,878	726,305
受検者数	1,109	5,049	54,310	91,991	135,984	76,651	69,896	53,341	53,773	54,275	48,182	39,211	683,772
合格者数	55	1,094	12,154	28,549	62,274	38,155	53,236	42,887	46,697	46,042	44,264	36,713	412,120
合格率(%)	5.0%	21.7%	22.4%	31.0%	45.8%	49.8%	76.2%	80.4%	86.8%	84.8%	91.9%	93.6%	
	1級～10級平均合格率 60.3%												

※志願者数には、漢検 CBT 志願者および当協会が判断した事由（伝染性病症や天災地変など）により受検を次回実施日に繰り越し、もしくは検定料を返金した志願者を含む。

⑥資格活用状況調査

全国の大学・短期大学、専修学校、高等学校における「漢検」の活用状況を調査しました。入学試験だけでなく入学後にも「漢検」を活用している大学・短期大学、専修学校、高等学校に関する有益な情報を学習者や指導者に提供しました。調査結果は次のとおりです。

学校区分	調査対象数	回答数	活用校数
大学・短期大学	1,071校	1,036校	608校
専修学校	2,791校	1,428校	587校
高等学校	5,503校	4,580校	3,975校

⑦成績優秀者表彰

「漢検」において、漢字学習に取り組んでいる人の努力を賞し、さらなる学習の励みとさせていただく目的で、3月29日（金）に成績優秀者表彰式を行いました。受賞者の内訳は次のとおりです。

本年度は、個人賞として198名と6組の家族に、団体賞として379団体に各賞を授与しました。

個人賞

◇日本漢字能力検定協会賞	1～10級	合計36名
◇全国検定振興機構理事長賞	1～10級	合計36名
◇優秀賞	1～10級	合計36名
◇奨励賞	1～10級	合計86名

◇特別賞		
<個人の部>	級を問わず年間での最高齢合格者	2名
	1級・準1級各級の最年少合格者	2名
<家族の部>		6組

団体賞

◇最優秀団体賞	20 団体
◇優秀団体賞	101 団体
◇奨励賞	158 団体
◇特別賞	100 団体

⑧各種表彰制度

・「満点賞」

満点合格者の努力を称え、さらなる学習の励みになるよう、各級に満点で合格された方に、合格証書・合格証明書・検定結果通知に加えて「満点賞」の賞状を授与しました。当年度の授与者は延べ 36,690 名でした。

・「家族受検表彰制度」

生涯学習の奨励と受検者の学習意欲向上を目的として、家族そろって合格した場合に、個別の合格証書に加えて、合格した家族全員の氏名が入った「家族合格表彰状」を申請希望により授与しました。当年度の希望家族数は 6,268 件でした。

・「団体内表彰制度」

受検者の学習意欲の向上を目的として、各団体が独自の基準で合格者を表彰できるよう、「表彰支援セット（賞状・楯・文具）」を制作し、1 日程の志願者数 80 名以上または年間累計志願者数 80 名以上の条件を満たした希望団体 557 団体に 717 セットを送付しました。

(2) 「BJT ビジネス日本語能力テスト」の実施報告

2017 年度より実施形式が従来の P B T (Paper Based Testing) から C B T (Computer Based Testing) に移行しています。

①実施日

各テスト会場の開設日時に応じて随時

②実施地

国内：26 都市 33 会場

海外：18 国／地域 60 会場

③受験料 6,999 円（税込、日本国内）

④志願者数

	志願者数
国内	2,893 名
海外	1,426 名
総計	4,319 名

(3) 「文章読解・作成能力検定」の実施報告

漢字学習の先にある、日本語文章を読み解き、作成する能力を育成するための「文章読解・作成能力検定」を実施しました。本年度より、公開会場でも実施しました。

①検定級および検定料

2級：4,000円 準2、3級：3,000円 4級：2,000円

②実施日

公開会場日程	対象級	準会場日程	対象級
平成31年2月3日(日)	2～4級	平成30年8月21日(火)	準2～4級
		平成30年10月27日(土)	準2～4級
		平成30年11月9日(金)	2～4級
		平成31年1月12日(土)	準2～4級
		平成31年1月23日(水)	準2～4級
		平成31年2月3日(日)	2～4級

③会場数

	第1回	第2回	計
公開会場	0	2	2
準会場	172	156	328
合計	172	158	330

④志願者数・受検者数・合格者数

	2級	準2級	3級	4級	計
志願者数	641	2,379	9,888	5,844	18,752
受検者数	580	2,232	9,226	5,314	17,352
合格者数	361	1,327	7,016	3,968	12,672
合格率(%)	62.2%	59.5%	76.0%	74.7%	
	2級～4級平均合格率				73.0%

⑤文章力テストの実施

企業等の団体において、任意の日時・場所で受検できる文章力テストを実施し、7,786人が受検しました。

⑥資格活用状況調査

全国の大学、短期大学における「文章検」の活用状況を調査しました。入学試験だけでなく入学後にも「文章検」を活用している大学、短期大学に関する有益な情報を学習者や指導者に提供しました。調査結果は次の通りです。

学校区分	調査対象数	回答数	活用校数
大学・短期大学	1,071校	1,036校	450校
専修学校	2,791校	1,429校	233校

(4) 学習支援講座

①漢検生涯学習ネットワーク研修会

漢検1級・準1級合格者に漢字や日本語についてより深く学ぶ機会を提供するため、漢検生涯学習ネットワークを組織しています。本年度で会員数は9,539名に達しました。会員向けの通信を年3回発行（ホームページでも公開）し、研修会を3回開催しました。

第21回研修会

日 時：平成30年4月15日（日） 13:30～16:30

場 所：東京都・フクラシア東京ステーション

講 演：『漢字の心理学』

横山 詔一 氏（国立国語研究所教授）

参加者：108名

第22回研修会

日 時：平成30年7月29日（日） 14:00～16:30

場 所：北海道・TKP札幌駅カンファレンスセンター

講 演：『漢字を嫌悪した中国人』

武田 雅哉 氏（北海道大学教授）

参加者：26名

第23回研修会

日 時：平成30年11月18日（日） 13:30～16:30

場 所：京都府・漢検 漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）

講 演：『日本の古辞書に見える漢字と訓み』－『色葉字類抄』「名字」の部を中心に－

藤本 灯 氏（京都府立大学文学部講師）

参加者：28名

②漢字教育サポーター育成講座（講師養成）

「漢検生涯学習ネットワーク会員」を対象に自らの漢字の知識を各地域の学習支援に生かせる講師を養成するため、「漢字教育サポーター育成講座」を希望者向けに開講しました。講座は立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所が主催する「漢字教育士」認定講座のカリキュラムに基づいたWebでのビデオオンデマンド講座で、1年間に4科目、全80時間の講義の視聴と確認テストを行い、合格者56名を第7期修了者として認定しました。

③漢字教育サポーター紹介制度

漢検の上位級（1級・準1級）の合格者で、一定の専門的知識を有している者（「漢検生涯学習ネットワーク」会員で「漢字教育サポーター育成講座」を修了した者）を漢字教育サポーターとして登録し、そのプロフィールをホームページ等で公開することにより、講座の開講を希望する団体等に紹介する学習支援活動を行いました。

漢字教育サポーター登録者数：584名（1期～6期合計）

(5) 教材の発行

広く一般の人々に対し学習の機会を提供する手段として、教材や参考書を発行し、書店や教育現場を通じて流通させました。あらゆる分野のあらゆる年齢層の人々に対し、その多様な学習ニーズに応える教材として、次の学習教材を提供しました。

①検定・テストに対応するもの

「漢検 漢字学習ステップ」「漢検 過去問題集」「文章カステップ」ほか

・・・・・・1,098,042 冊

②日本語・漢字への興味関心を喚起するもの

「漢検 漢字辞典」「漢字学ことはじめ」「マンガで体験！につぼんのカイシャ」ほか

・・・・・・14,304 冊

合計 1,112,346 冊

また、上記の有料の教材や参考書だけでなく、無料で利用していただける教材も制作し、教育現場を通じて提供しました。

①検定・テストに対応するもの

「漢検 目安級診断プリント」「漢検 漢字 50 問プリント」ほか

・・・・・・736,216 部

②日本語・漢字への興味関心を喚起するもの

「漢字でわーく・わーく」「リアル脱出ゲーム」ほか

・・・・・・1,110,615 部

合計 1,846,831 部

Ⅱ. 理事会・評議員会に関する事項

平成30年度の理事会・評議員会の開催状況は以下の通りである。

- ・理事会（臨時）
日 時：2018年4月3日（火）午前10時
場 所：当協会 京都本部・東京事務所 会議室（ビデオ会議システム）
出席者：理事11名、監事1名

- ・理事会（定例）
日 時：2018年6月6日（水）午後2時
場 所：当協会 京都本部 会議室
出席者：理事10名、監事2名

- ・評議員会（定時）
日 時：2018年6月22日（金）午後3時
場 所：当協会 京都本部 会議室
出席者：評議員11名、理事4名、監事2名

- ・理事会（定例）
日 時：2018年9月7日（金）午後2時
場 所：当協会 京都本部 会議室
出席者：理事10名、監事1名

- ・評議員会（報告の省略）
日 時：2018年9月20日（木）
同意者：評議員総数11名

- ・理事会（決議の省略）
日 時：2018年11月9日（金）
同意者：理事総数11名、監事総数2名

- ・評議員会（臨時）
日 時：2018年12月7日（金）午後1時30分
場 所：当協会 京都本部 会議室
出席者：評議員7名、理事4名、監事1名

- ・理事会（定例）
日 時：2018年12月7日（金）午後3時
場 所：当協会 京都本部 会議室
出席者：理事10名、監事2名

- ・理事会（臨時）
日 時：2019年1月10日（木）午後2時
場 所：当協会 京都本部・東京事務所 会議室（ビデオ会議システム）
出席者：理事9名、監事2名

- ・評議員会（報告の省略）
日 時：2019年1月28日（月）
同意者：評議員総数11名

- ・評議員会（決議の省略）
日 時：2019年2月1日（金）
同意者：評議員総数11名

- ・理事会（定例）
日 時：2019年3月1日（金）午後2時
場 所：当協会 京都本部 会議室
出席者：理事10名、監事3名

- ・評議員会（臨時）
日 時：2019年3月15日（金）午後2時
場 所：当協会 京都本部 会議室
出席者：評議員7名、理事4名、監事3名

- ・理事会（報告の省略）
日 時：2019年3月29日（金）
同意者：理事総数13名、監事総数3名

Ⅲ. その他

（和解による訴訟の解決に関する事項）

元正副理事長2名及び関連4社（株式会社オーク他）の計6者に対する不当利得の返還及び損害賠償を求める訴訟が大阪高等裁判所に係属していましたが、同裁判所からの和解勧告により、平成30年5月14日に和解が成立しました。これにより、既に仮執行により受領した2億5162万5506円のほか、3億6688万6100円を解決金として同氏らから受領し、訴訟が終了しました。

Ⅳ. 後発事象

なし

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しません。

令和元年 6月

公益財団法人 日本漢字能力検定協会